



大和ミュージアム(呉)



はしご付消防自動車



美術館



海洋少年団 団員募集中

連絡先: TEL 866-6686 加賀

○海のような広い心  
○体を鍛え心を養う

### ○教科書問題

第3回定例会(9月18日～10月17日)の議事等の一部を紹介します。(注:定例会は年4回招集され、通例では3月、6月、9月、12月に開かれます。)

市議会に対し、「高校教科書検定における、沖縄戦集団自決に関する記載内容の修正指示撤回を求める意見書提出について」という(長い名称の)請願が出されました。これは、高校日本史教科書検定において、旧日本軍が住民に「集団自決」を強制したとする記述が削除された問題を取り上げ、記述の復活を求める意見書を、市議会が国へ提出せよという内容です。この請願は、当然のことに反対多数で否決されました。(市議会として意見書を提出しないということ)この件は国会でも問題となっており、政府としてどのような決着を図るのか予断を許さないところですが、集団自決への軍の関与が歴史事実として認められない限り、軽々に決めつけるべきではありません。また、教科書問題に政治が介入する愚を犯すべきではないと思います。そして、なによりも自虐史観から脱して、健全な国民精神並びに愛国心を育む必要を痛感します。



### ご存知ですか！

横須賀市は基地対策費として、国から交付金を受けています。これは「特定防衛施設周辺整備調整交付金」といわれるもので、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、横須賀市が特定防衛施設関連市に指定され、毎年国から交付されるものです。この交付金は昭和50年から継続して配布されており、防衛施設周辺の環境整備に役立っています。

平成18年度決算ベースで、交付金の歳入額は約4億円です。同じく歳出の主なものを見ると、不入斗公園ナイター整備4千3百万円、消防車の整備等8千5百万円、美術館関連約9千8百万円、学校の改修等4千万円、スーパー防犯灯4千万円、等々です。この交付金の使途目的については、法律で一定の枠が定められているものの、実態は公共施設等の整備であれば、ほとんどの施設が該当するため、受手の横須賀市が自由に使途を裁量できる、使い勝手の良い交付金といえます。この交付金の額は市の財政にとって決して小さいものではなく、横須賀市と自衛隊・米軍が共生している賜物であるといえるのではないのでしょうか。

#### 木下けんじの経歴

昭和25年生まれ

夏島小、追浜中、横須賀高校卒業

昭和48年防衛大卒業

以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等

平成18年海上自衛隊定年退官

#### 現在

横須賀海洋少年団 団長

横須賀水交會 理事

隊友会横須賀支部 相談役

### 連絡先

木下けんじ 事務所

〒239-0822横須賀市浦賀5-8-5-1102 TEL: 090-5303-0828

E-mail: kenji-kinoshita@u01.gate01.com